

本殿直前の右へ曲がるこの角は 90 度に見えるかもしれませんが、実は 88 度です。日本では 8 は、漢字で書くとすそ広がりなので、繁盛を諭旨するとされます。なので 88 度は特に特に縁起が良いとされています。戦国時代（15 世紀後半～16 世紀後半）に、城の門や城下町の道ではよくこの柵形が起用されていましたが、敵への防衛力を高めるためでした。